公式記録

令和4年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　決勝【 47 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日時	2022 年 11 月 6 日（日） 13 : 05 キックオフ	会場	ノエビアスタジアム神戸
天候	晴れ / 風 / 弱風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー
状態	良好	試合形式	80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原 弘樹	会場主任	石塚 俊一
記録	芝切 淳 ／ 後藤 大輔	観衆	4,035 人
主審	大塚 晴弘	副審1	小林 顯太
副審2	園家 晋一	第4の審判員	山本 直

チーム名	kick off				チーム名
報徳学園高校	2	1	前半	3	芦屋学園高校
		1	後半	0	
			延前		
			延後		
			PK戦		
選手番号 / ○× 先 / PK戦					PK戦 / 先 ○× / 選手番号

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					長村 未都 3年	1	GK	GK	(12)	重田 達志 3年					分	
	分			1*	1*	山﨑 純平 3年	5	DF	DF	3	岩本 康生 3年					分	
	分				1	牧 雄大 3年	3	DF	DF	4	柏木 雄太 3年					分	
	分					前山 康貴 2年	19	DF	DF	5	世羅 大和 3年	1*				分	
	分					前市岡 孝太 3年	2	DF	MF	11	倉光 諒 3年	1*				54 分	
	分				1	瀧田 隼人 3年	(7)	MF	MF	7	大島 尚也 3年					分	
	73 分					花野 周磨 3年	6	MF	MF	6	岩井 大将 3年		1			分	
	62 分					中嶌 大和 1年	20	MF	MF	2	吉田 開 3年					分	
	分					稲井 想真 3年	8	MF	FW	18	高岡 快斗 3年					64 分	
	54 分					今西 悠貴 3年	11	MF	FW	10	出口 遼人 3年	1	2			80 分	
	分				2	坂元 一渚璃 3年	9	FW	FW	9	スコット 龍 3年	1*				78 分	
	分					北迫 大和 1年	21	GK	GK	21	佐藤 琉也 2年					分	
	分					鹿野 蓮斗 3年	4	DF	DF	15	西脇 輝 3年					分	11
	分					張 海人 2年	23	DF	DF	16	田尾 直也 3年					分	
	分					細野 一志 3年	29	DF	DF	27	古志 智博 3年					分	
11	73 分					大久保 星七 3年	14	MF	MF	8	酒井 駿一 3年					分	9
	分					森山 皓貴 3年	15	MF	MF	19	岡部 祥平 3年					分	
14	分					松本 一輝 3年	10	MF	MF	24	元木 丈 2年					分	10
20	分					宮本 有登 3年	13	FW	FW	13	野田 恵佑 3年					分	18
6	分					前田 日向 2年	22	FW	FW	30	洪 俊輝 1年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由
45 分	警	8	稲井 想真	ラフ

合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計
6			1	5	シュート	4	3			7
4			2	2	ＧＫ	4	0			4
6			4	2	ＣＫ	2	1			3
10			6	4	直接ＦＫ	1	4			5
3			2	1	間接ＦＫ	0	0			0
0			0	0	ＰＫ	0	0			0

時間	警・退	No.	氏名	事由
分				
分				
分				
分				
分				
分				
分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警２

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
2 分	芦屋学園	11	倉光	0 － 1	右 ⑱ → 中央 ⑪ S
7 分	報 徳	5	山﨑	1 － 1	中央 × ⑨ S こぼれ球 ⑤ S
19 分	芦屋学園	5	世羅	1 － 2	右 スローイン ④ ∩ 中央 ⑨ ∩ ⑤ HS
37 分	芦屋学園	9	スコット	1 － 3	左 ⑥ ∩ 中央 ⑨ S
48 分	報 徳	5	山﨑	2 － 3	右 CK ⑦ ∩ 中央 ⑤ HS
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属【 芦屋・県伊丹 】　氏名【 上野・米本 】

3年ぶりの大観衆の中、報徳1-4-2-3-1、芦屋学園1-4-4-2でスタート。立ち上がりから両チームが得点し、大きく試合が動く。2分芦屋学園⑪倉光が右足を振り抜き先制すると、対する報徳は7分ロングスローのこぼれ球から⑤山崎が押し込み同点に追いつく。報徳の攻撃はボランチ⑥花野⑦瀧田が試合を組み立てながら⑨坂本のキープカに加え、⑧稲井がタイミングよくスペースでボールを受け、高い技術を発揮しながら芦屋学園ゴールに迫る。芦屋学園は4-3-3に変更し中央のスペースを消しながら⑨スコット、⑱高岡、⑩出口の3人で前線からプレスをかけ報徳の特徴を消しにかかると、芦屋学園が押し込む展開となる。19分④柏木のロングスローから⑨スコットに合わせ、⑤世羅が押し込み追加点をあげると、前半終了間際に⑨スコットの高いフィジカルを活かしたボールキープから左足を振り抜き3点目を上げ前半終了。報徳は後半立ち上がりのCKから1点を返すと、芦屋学園の運動量も少しずつ落ち始め報徳のボールを保持する時間が増え始める。芦屋学園は後半飲水タイム後、⑬野田を投入し5バックに変更し守備を固め、④柏木、⑤世羅を中心に体を張ったディフェンスで報徳の猛攻を跳ね返し続ける。互いに交代選手を多く投入する総力戦となった決勝戦は芦屋学園がリードを守り切り、初の県選手権優勝を掴み取った。芦屋学園には全員が体を張った強度の高い守備と迫力ある攻撃に加え、多彩なセットプレー活かして全国大会での活躍に期待したい。

［備 考］